



TIME TABLE

時 程 表

20150201版

3月6日(金)

18:30-21:00	大学自転車競技フォーラム	
	「TOKYO2020は何を残すか」	
	於 国立オリンピック記念青少年総合センター会議室	

3月8日(日)

6:00	会場設営開始	
7:30	競技役員・立哨役員集合打合	
9:00	交通規制開始	
09:00 - 09:30	参加選手受付・ゼッケン配布	
10:00	開会式	
10:20	オープン&ウォームアップ・ライド	1.5km×5laps = 7.5km
10:50	タイムトライアル(小・中学生,ハンドサイクル、マスターズ)	1km×1 lap = 1km
11:20	男子大学生 グループ3 A組	1.5km×6laps = 9km
11:40	男子大学生 グループ3 B組	1.5km×6laps = 9km
12:00	マスターズ・クリテリウム	1.5km×8laps = 12km
12:20	表彰式(午前の部)	
	立哨員昼食(コース閉鎖)	
13:00	男子大学生 グループ2 A組	1.5km×8laps = 12km
13:25	男子大学生 グループ2 B組	1.5km×8laps = 12km
13:50	女子(学連登記選手+JCF登録競技者)	1.5km×8laps = 12km
14:20	男子大学生 グループ1(大学対抗)	1.5km×20laps = 30km
15:20	表彰式・閉会式(午後の部、大学対抗、シリーズ総合)	
17:00	規制解除(予定:早まる場合があります)	

大会当日のお問い合わせは大会本部携帯電話(080 4176 2369)まで



DE ROSA

NICHINAO



PEARL IZUMI

CYCLOCHANNEL



SUBARU

SHIMANO



TOPTOUR



YONEX

Panasonic

CYCLES・YOKOO



NALSIMA



KABUTO



ENEOS



MICHELIN



Campagnolo



PowerBar



KASK



Tacx



TERZO



第5回 大学自転車競技フォーラム2015東京 「TOKYO2020は何を残すか」

様々なテーマで議論や考える機会を提供してきた大学自転車フォーラムですが、5回目となる今回は、2020年東京オリンピックは何をもたらすのか、56年ぶりの祭典の後に何を残すべきなのかを考えたいと思います。もちろんオリンピックの主演として活躍することが競技者として最大の目標ですが、オリンピックは様々な事柄に変革をもたらす契機でもあります。前回オリンピックでは世界を追いかける日本だったのですが、今や世界をリードしていく役割を期待される立場です。今考えておかなければならない事を発見するきっかけとなることを期待しております。

期日 2015年3月6日(金) 18:30より (今年は金曜日の夜です。お間違いなく!)

場所 国立オリンピック記念青少年総合センター <http://nyc.niye.go.jp/>

センター棟4階 402研修室 (120名収容)

東京都渋谷区代々木神園町3番1号 小田急線 参宮橋駅 徒歩7分

東京メトロ千代田線 代々木公園駅 4番出口徒歩10分

時程

- 18:00 会場準備開始
- 18:20 一般入場開始
- 18:30 司会・開会挨拶 三宅秀一郎：日本学生自転車車競技連盟強化普及委員長
- 18:35 第一部 — 1964東京がもたらしたもの—
 1964東京五輪自転車競技記録映像 (八王子市・西澤幹夫氏提供)
 講演・東京1964オリンピック 井関康正：日本学生自転車車競技連盟副会長
 メルボルン大学チーム紹介
- 20:00 休憩
- 20:15 第二部 — TOKYO2020がもたらすもの—
 講演 新しい建築の可能性 川添善行：建築家 東京大学准教授
 大学競技者からの視点 相本祥政：法政大学、2015全日本学生RCSリーダー
 橋本英也：鹿屋体育大学、2014アジア大会オムニウム1位
- 21:00 質疑応答
- 21:15 閉会挨拶 松倉信裕：日本学生自転車車競技連盟理事長
- 21:20 閉会

入場無料 ご予約は電子メールで jiicf@remus.dti.ne.jp または FAX.03-3481-2369 まで氏名・住所 (町まで、番地不要) をお送りください。当日受付けも行います。(当日電話 080 4176 2369)





参加選手の皆様へ 注意事項

エントリーの受付

- ・別途発表済みの通り、本大会はエントリー希望者全員の出場を受付ました。
- ・RCS 第 15 戦でクラス 3 からクラス 2 へ昇格した選手は、グループ 2 での出走となります。

駐車場

- ・「絵画館駐車場」のご利用が便利です。利用料金は 1 日 **1550 円**、7 時 00 分以降入場できます。それ以前は入庫できません。競技時間中の入出庫は可能です。**(釣り銭の無いようご準備ください)**
- ・参加者は、主催者で絵画館より一括借上している指定区域（一番奥）に駐車してください。
 - －指定駐車範囲外でのテントや毛布による場所取り、ローラー台の使用、**自転車での走行は禁止**。一般の駐車場利用者の迷惑となりますのでご遠慮下さい。
 - また、指定範囲内であっても、他の駐車場の迷惑にならないように使用してください。
- ・参加者の駐車料金は駐車場入口にて学連の役員が徴収します。
 - －支払いと引き換えに駐車証を発行しますのでフロントガラスに表示してください。

受付・ゼッケン配布

- ・「受付」テントにて、9:00-9:30 の間、ゼッケン・プログラム・ID カード・参加賞を配布します。
 - －レースに参加される方は JCF 登録ライセンスをご持参・提示ください。
 - －女子レースに参加でウォームアップ不参加の方は、12:00 迄に受付をお済ませください。
 - －ゼッケンまたは ID カードの無い方は、コース内に入ることができません。
 - －**ゼッケン・フレームプレートは、返却をお願いします。**
 - －ID カードは中身のみ持ち帰り、ケースは返却してください。
 - －オープンライドのみ参加の方も、受付でゼッケンをお受け取りください。

開会式

- ・10:00 より実施します。参加選手は原則として全員ご参加ください。

試走・「オープン&ウォームアップ・ライド」

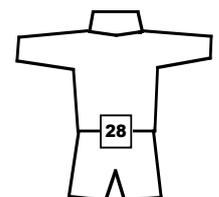
- ・レース参加者の試走は、10:20 より「オープン&ウォームアップ・ライド」として行います。
- ・ゼッケンを付けた方のみがコースにはいることができます。
- ・これはレースではありません。モーターバイクが先導しますので、これを追い越さないで下さい。
- ・整列順は、オープンライドのみ参加者、マスターズ、小中学生、女子、G1,G2,G3 の順。
- ・レース中のウォーミングアップ等は、交通規制範囲内の国立競技場横の道路のみで行い、一般道には出ないようにしてください。
- ・**駐車場内を自転車で走りまわらないで下さい。**一般車との事故の原因となります。
- ・各レースとレースの間には、コースを開放いたしませんので、試走はできません。

駐輪場

- ・駐輪場に駐輪場（バイク・ラック）を設置します。植栽に自転車を立てかけないで下さい。
- ・駐輪場での盗難、破損等の損害について主催者は責任を負いません。

小中学生・マスターズ・ハンドサイクル タイムトライアル

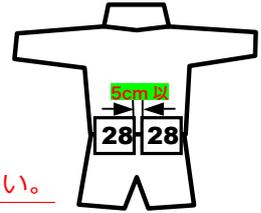
- ・ゼッケンを右図のように背面中央下部に一枚付けて出場してください。
- ・出走する選手はヘルメットを着用してください。
- ・ハンドサイクルで背中面が見えなくなるポジションの方は、背面から見える位置に車体に取り付けて下さい。





学生クリテリウム・マスターズ クリテリウム

- ・フレームプレートはフレーム前部中央につけることを原則とします。もし中央に取り付けられず、左右どちらかに寄ってしまう場合は、右側に寄せてください。
 また、どうしてもフレーム前部に取り付けることが不可能な場合、シートピラーに取り付けることを認めますが、臀部・脚部で隠れないよう十分突き出した位置にしっかり固定してください。
- ・ゼッケン、フレームプレート取付用の安全ピン、結束バンドは各自で用意してください。
- ・ゼッケンは右図のように取り付けてください。
- ・ゼッケン、フレームプレート、IDカードケースはレース終了後、チームでまとめて表彰台横の受付まで返却してください。



出走サイン、バイクチェック

- ・コースへの出入りはS/F(スタート・フィニッシュ)地点手前の横断歩道脇からのみ出入り可能です。
- ・ゼッケンを装着した選手、IDカードを付けた者のみがコースに立ち入ることができます。
- ・各出走開始時刻の**30分~15分前**にコース内スタート地点横のテントでバイクチェックを受けてください。
- ・出走する服装でゼッケンをつけ、自転車とヘルメットを持参してください。
- ・ヘルメットはJCF公認のヘルメットを着用してください。
- ・自転車等、使用器材は自己の責任において、安全で規則に適合したものをご使用ください。
- ・クリテリウムで所謂ノンスタンダードホイール(リム高さ25MM以上もしくはスポーク数16本未満)を使用する場合、UCI試験適合製品のみが使用可能ですので、注意してください。
- ・本大会を含む**全日本学生ロードレースカップシリーズ**においては、公道を走行可能な装備でレースに参加いただくこととしております。ベル、後方反射テープも必須となります。予めご用意ください。

レースについて

- ・失格となった選手は、順走にてS/F地点手前の横断歩道脇からコース外に出てください。
- ・ゴールした選手はレース方向順走にてS/F地点手前の横断歩道脇にゴール後1周回以内に入ってください。

機材交換について

- ・機材交換は、S/F地点及び銀杏通Uターン部の機材ピットにおいてのみ認められます。
- ・主催者にて共通機材を用意しておりますが、チームの器材を置くことも可能です。
- ・ピットゾーンへはIDカードをつけている人のみ入り機材修理を行うことができます。
 IDカードは大学チーム各校3枚、他のカテゴリは選手1人につきIDカードを1枚配布します。
- ・審判員により確認された認められる事故の場合、最後の5周を除き1周のニュートラリゼーションが与えられますが、ニュートラリゼーション適用直後のポイント周回での中間スプリント賞は獲得できません。

部旗、横断幕、応援団について

- ・SF地点前後のフェンス指定位置に各校部旗、横断幕、応援団スペースがあります。
 配置場所はすでに抽選会で決定済みです。担当者の指示に従い、各校にて設置してください。
- ・太鼓等、鳴り物の使用については、近隣の迷惑にならないよう注意し、主催者の指示に従ってください。

ゴミについて

- ・ゴミは各自でお持ち帰り下さい。
- ・レース中にボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ地面に静かに落とす事が認められます。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、1件につき3,000円のペナルティを科します。





立哨役員・競技役員の皆様へ

集合時刻

- ・ 絵画館前SF 地点にて7 時より受け付けを行い、携行品をお配りします。
- ・ 7 時30 分より役員打ち合わせを行いますので、それまでに受付を終わらせて下さい。
 役員打ち合わせが終わり次第、各ポジションにて、テント・フェンス等の設営を行なって頂きます。

服装、携行・配布品

- ・ 学連ロゴ入り白いビブス、学連帽子、ID着用を原則とします。(ウィンドブレーカーの支給はありません)
 - IDカードは全員分、当日配布します。
 - **ID カード、ビブスは大会終了後、返却して下さい。**
 - ビブスには防寒機能はありませんので、防寒具は各自でご用意願います。
- ・ **ホイッスル、雨天時の雨具は各自でご用意願います。**
- ・ スポン、ビブスの中に着る衣類の色は特に指定しません。
- ・ 大会プログラム等、A4サイズの書類が配布されます。サコッシュ等を持参して収納してください。

任務について

- ・ 一般観客と選手の接触事故等を防止し、怪我人なく円滑に大会を実施することが重要な任務です。
- ・ **レース中はコースに背を向け観客側を向いて立って下さい。**レース観戦をしてはなりません。
- ・ 立哨役員としての自覚を持って行動し、座っての任務、ミュージックプレイヤーの使用、選手への応援・写真撮影等はしないこと。
- ・ 携帯電話は電源OFFまたはマナーモード、執務中は通話やメールは行わないこと。
- ・ コース内側施設(軟式野球場など)利用客の走路横断は、地図に記載された指定箇所をご案内して下さい。
 その他の一般観客はコースの外側を歩くようお願いして下さい。
- ・ 一般の歩行者が走路を横断する場合は、レース走行中・試走中の選手との接触事故が無いよう、**先導車両(黄色のバトライト付き)通過後から最終オートバイ(青色のバトライト付き)通過時までの間、走路の横断を禁止して下さい。**
- ・ 一般客に対しては、命令調の言葉遣いは禁物です。 **お願い調の言葉遣いを使用してください。** 例えば、
 「まもなく自転車レースが来ます、しばらく横断をお待ち下さい。」
 「最終走者通過までもう少しお待ち下さい。」
 「どうぞ横断してください。ご協力ありがとうございました。」
- ・ レース前と終了後にコース設営の準備、撤去作業を手伝って頂きます。各校提供のテントの設営時は、自分の学校からの提供テントの設営を担当してください。

事故後の安全措置

- ・ 万が一、事故が起きてしまった場合、
 1. 事故現場に後ろから選手が追突しないよう、ホイッスルで告知
 2. ゾーンマネージャーに大声で連絡
 3. 頭部・頸部損傷可能性ある場合、むやみに選手を動かさない
 4. 選手集団後方にいる審判・ドクターと協力して収容

レース終了後について

- ・ レース終了後はゾーンチーフの指示に従い撤去作業を手伝って頂きます。
- ・ 各ゾーンの撤去作業が済んだらSF 地点にお集まり下さい。表彰式終了後、役員打合を行ってから解散となります。

当日の立哨役員の欠場・遅刻について

- ・ 各校から出て頂く、供出立哨役員に欠場があり、出走選手数に必要な立哨員数を下回った場合、実際に来ている立哨員数により参加可能な選手数を上回る選手の出走は認めません。必要な人数は必ず供出して下さい。遅刻して説明を聞かずに執務すると事故の原因になるので、**絶対に遅刻しない事。**遅刻者には金銭ペナルティを科します。

大会当日のお問い合わせは大会本部携帯電話(080 4176 2369)まで



DE ROSA

NICHINAO



PEARL IZUMI

CYCLOCHANNEL



SUBARU

SHIMANO

TOPTOUR

YONEX

Panasonic

CYCLES・YOKOO

NALSIMA

Kabuto

ENEOS



ELITE

Campagnolo

PowerBar

KASK Tacx

TERZO

ドーピング検査について

1. 本競技大会は、「日本ドーピング防止規程」(以下、JADA Code)ならびに公益財団法人日本自転車競技連盟競技規則集第23章ドーピング・コントロール」(JCF 競技規則)に基づき、検査を実施いたします。
2. **検査対象競技者**：出走した競技者全員が対象となります。競技途中で**失格・棄権となった**競技者もドーピング検査の対象に含まれます。
3. **検査対象競技者への通知**：以下に指定した掲示場所に検査対象競技者のゼッケン番号を掲示します。あわせてシャペロンによる通知も行います。
4. **掲示場所および掲示のタイミング**：検査対象競技者は、以下のタイミングおよび場所で掲示します。ドーピング検査対象者の掲示を確認することなく競技会会場を離れ、ドーピング検査に対応する事ができなかった場合には、ドーピング防止規則違反と判断され、制裁を受けることとなります。

掲示のタイミング

先頭の競技者(ライダー)がゴールする前に
以下の指定場所へ掲示します。

掲示場所(複数の場所に掲示しています)

- ・メインコミュニケボード(選手受付テント付近)
- ・スタート・フィニッシュ地点付近
- ・ドーピング検査室前(JADA ドーピング検査車両)

5. **検査実施場所**：**JADA ドーピング検査車両にて行います**
ドーピング検査室設置場所案内図を上記掲示場所へ掲示します。
6. **ドーピング検査室への出頭**：検査対象となった競技者は、検査対象者の掲示確認後可能な限り速やかにかつ競技会終了後30分以内に、ドーピング検査室に出頭してください。その際、写真付身分証明書(例：写真付ライセンス、運転免許証、パスポートなど)を持参してください。
7. **ドーピング検査対象者の掲示が掲示のタイミング以降なされていない場合には、ドーピング検査は実施されません。**

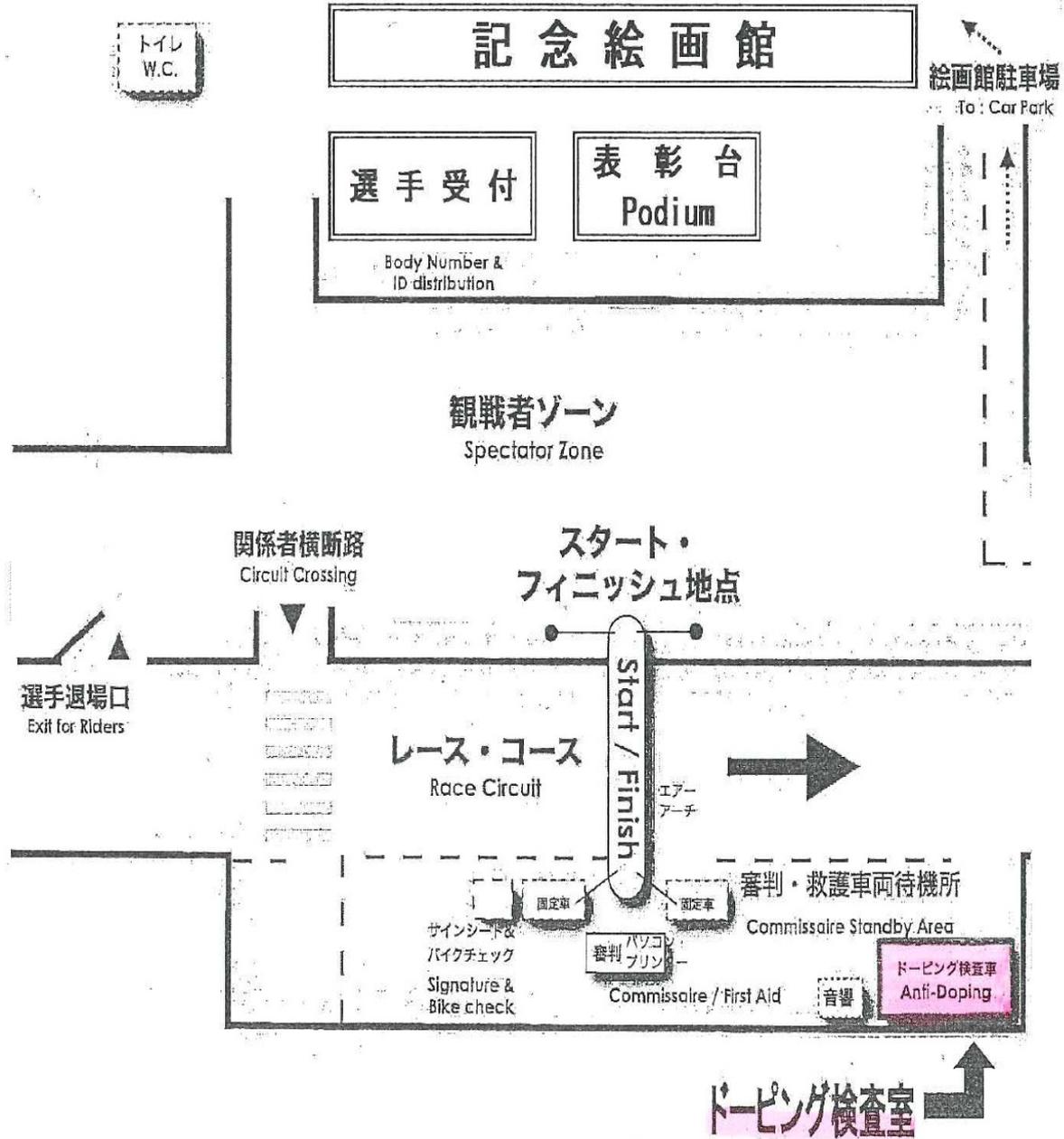
ドーピング検査対象者の掲示がなされているか否かはメインコミュニケボード及び掲示場所にて各自で必ず確認してください。

8. **摂取医薬品リスト提出**：受付時(ライセンスコントロール)に受領した摂取医薬品リストは、競技に参加する前に記入し、出走する当日の出走前に出走サイン(バイクチェック)場所へ提出してください。薬物の使用が無い場合でも“なし”と記入し、提出してください。提出の際は、競技者に連絡のつく連絡先を必ず明記してください。

※摂取医薬品リストの記入は、チームごとに参加するすべての選手名(複数名)をカテゴリー別に記入して提出ください(個人で記入して提出することも可)



ドーピング検査室設置場所
Location of Doping Control Station





《重要!!》 ドーピング検査について

本競技大会は、ドーピング検査対象大会です。失格者・棄権者も含め出走した全ての競技者がドーピング検査の対象となりますので、全ての競技者は、競技会会場を離れる前に、必ず、ドーピング検査対象者を確認してください。

検査対象者を確認することなく競技会会場から離れ、ドーピング検査に対応することができなかった場合には、ドーピング防止規則違反として制裁を受ける可能性があります。

ドーピング検査対象競技者の掲示のタイミングおよび場所は、コミュニケに記載されていますので、必ず確認してください。ドーピング検査対象者の掲示がなされていない場合には、ドーピング検査は実施されません。ドーピング検査対象者の掲示がなされているか否かはメインコミュニケボードで確認してください。





摂取医薬品リスト（国内大会用）（JCF規則第99条31.）

競技大会名 第九回明治神宮外苑大学クリテリウム
 競技大会日 平成 27 年 3 月 8 日
 チーム名 _____
 チームドクター名 _____

レースのスタート前72時間以内に、下記の競技者が、以下に示す医薬品を摂取し、あるいは、下記の治療を受けたことを申告する:

競技者	医薬品または治療(用量および製造業者を示す)
1.	_____
2.	_____
3.	_____
4.	_____
5.	_____
6.	_____
7.	_____
8.	_____
9.	_____
10.	_____

チーム責任者氏名並びに署名(この書類に関する責任者)

日付 _____
 氏名 _____ 署名 _____
 チーム責任者携帯番号 _____

注意 : そのレースに参加するチーム/クラブのすべての競技者を列挙し、該当しない場合には、"none" (なし)と記載してください





記入例見本

攝取医薬品リスト (国内大会用) (JCF規則第66条第1.)

競技者番号 00000大森
 競技大会日 2015年0月00日
 チーム名 00000チーム
 チームリーダー名 JCF 太郎

レースのスタート前72時間以内は、下記の競技者が、以下に示す医薬品を摂取し、あるいは、下記の用途を目的とすることを禁ずる。

順位	JCF 一般	医薬品または治療(用量および製造業者を示す) ワケ字(錠剤/錠剤、可溶性/注射、含有/不含有/錠剤/錠剤、無水/含有/)
1.	JCF 一般	ワケ字(錠剤/錠剤、可溶性/注射、含有/不含有/錠剤/錠剤、無水/含有/)
2.	JCF 二部	none (なし)
3.	JCF 三部	none (なし)
4.		
5.		
6.		
7.		
8.		

チーム責任者氏名並びに署名(この書類に関する責任者)

日付 2015年0月00日
 氏名 JCF 太郎 署名 JCF 太郎
 チーム責任者連絡番号 000-0000-0000

注意: このレースに参加するチームリーダーのすべての競技者を列挙し、該当しない場合には、"none" (なし)と記載してください。

